

西牧大使とシャフダ WFP 副代表によるポハンバ第二代大統領表敬訪問 (令和 6 年 12 月 5 日)

2024/12/5

令和 6 年 12 月 5 日、西牧大使はシャフダ国連世界食糧計画（WFP）副代表とともにポハンバ第二代大統領を表敬訪問しました。本表敬訪問は、ポハンバ第二代大統領が所有するファームの私邸（ナミビア北部アンゴラ国境沿いのオハングウェナ州 Okanghudi 所在）にて実施されました。西牧大使とシャフダ副代表から、ポハンバ二代目大統領に対して、日本政府と WFP が共同で現在実施している「令和 6 年度緊急無償資金協力：ナミビアにおける干ばつ被害に対する緊急無償資金協力」について説明を行いました。本緊急支援は、過去 100 年で最悪と言われる干ばつに直面しているナミビア政府の干ばつ救済プログラムを支援するもので、干ばつの影響によって深刻な栄養不良に直面しているクネネ州とオハングウェナ州の 26,555 人を対象として食糧バウチャーを提供し、両州の食糧不安の急速な悪化を食い止め、命を救い、栄養不良を防ぐことに貢献しています。ポハンバ第二代大統領からは、干ばつの影響でオハングウェナ州を含むナミビアが現在食糧不安に悩まされていることについての説明と、日本政府及び WFP による食糧支援に対する感謝の言葉が述べられました。



(前列) ポハンバ第二代大統領 (右) とポハンバ夫人 (左)

(後列左より) ウトニ職員 (WFP)、リエツ職員 (WFP)、西牧大使、シャフダ副代表 (WFP)、山田書記官



(左より) 西牧大使、ンジュルワ・オハングウェナ州オンドベ地区評議員、ポハンバ第二代大統領